

ソーシャル21 講演会

現代日本のネット世論の特徴 なぜネット選挙が成り立ちにくいのか

21世紀に入ってインターネットは急速に進歩し、社会のあらゆるステージで役割を果たすようになりました。しかし、日本においては政治参加のツールとしてのネットの役割はまだまだお寒い状況です。情報の量そのものは多くても、その質はかなり粗雑であり、裏付けのない情報も多く飛び交っているのが実情です。また、袋小路に入った感情的な議論も目立ち、成熟した言論市場を形成しているとは言い難い状況です。

一方、ネットを使った選挙も投票には繋がりにくい状況です。海外を見ますと、アメリカでは民主社会主義を掲げるサンダース候補の善戦や、韓国ネチズンの盛り上がりなど、投票行動とネット上の運動が直結するケースも見られます。その意味では、日本のネット世論は海外とは違う特質があるのではないかと思います。

参議院選挙を直前に控え、参加者の皆さんと一緒に「ネットと政治」についての議論を深めたいと思います。ご参加をお待ちしています。

日時 6月15日(水) 午後6時30分から8時30分

場所 渋谷区立勤労福祉会館

渋谷区神南1-19-8 公園通り 渋谷パルコⅡ向かい

講師 五百蔵 洋一さん (弁護士・ソーシャル21代表)

「政治の場における日本のネット事情～そのマイナス面」

津田 大介さん (ジャーナリスト・関西大学特任教授)

「ネットユーザーの世論形成力」

資料代 500円

*参加ご希望の方は、下記までご連絡をいただけましたら幸いです。

FAX 03-6909-1283 E-MAIL masukomi-shimin@nifty.com